

(神ブロ選管書式4)

平成22年 7月 6日

2010年度公益社団法人日本青年会議所
関東地区 神奈川ブロック協議会
会長選出管理委員会
委員長 手塚 稔 様

社団法人秦野青年会議所

理事長 中野 貴之



推 薦 理 由 書

我々、社団法人秦野青年会議所は佐野博之君を2011年度公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会長に推薦させていただきます。

佐野博之君は別紙のとおり1996年9月3日、25歳の若さで社団法人秦野青年会議所の門を叩きました。以来、青年会議所運動を通じ、人として、経営者として、JAYCEEとして著しい成長を遂げていく様子を近くで見参りました。佐野博之君という人間を端的に表現致しますと「人の嫌がる事をすすんでやる人」・「人の犠牲になる事を惜しまない人」であり、彼の行動理念は「利他の精神」そのものであります。辛い事や苦しい事があっても決して弱音を吐かず、常に明るく振舞いながら周囲に気配りを欠かさない一方、ひとたび事に当たるとそれに没頭して凄まじい集中力と行動力を発揮します。その姿を目の当たりにした人達は心を動かされ、「佐野の為なら」と彼の周りに集い、その動きは大きなうねりとなって行くのです。「自身の背中、自身の行動」で範を示す事が出来る、比類なきリーダーシップを備えた人間であります。

LOMに於いては2001年に委員長であった佐野博之君は、秦野市の中心を流れる市民の近寄らなかつた汚れた水無川に着目し、その川を綺麗にして鯉を放流し、河岸に花を植えました。この行動が行政、そして市民の目を水無川に向ける事になり、今では行政による水質管理の徹底や多くの市民による河岸への植栽が行われ憩いの場となっています。

そして、2006年は理事長として「挑戦はだの」のスローガンの下、郷土愛をテーマに新たな青少年育成事業に挑戦し、市内の高校生をボランティアとして連携し、強いリーダーシップを発揮し、理事長としての理念をしっかりと伝えた事で、参加頂いた小学生は郷土への誇りと自然を守る事の大切さを十分に理解できた一年となりました。

佐野博之君は与えられた役割を正確に理解し、強いリーダーシップの下、期待を上まわる成果をあげて参りました。2011年度神奈川ブロック協議会においても、今までのLOM内外で培った経験によって今後のさらなる神奈川の発展の一助となると確信しております。社団法人秦野青年会議所から33年ぶりのブロック会長候補者として、現役メンバーそしてシニアメンバーも一丸となって支援してまいります。2011年度、彼の「利他の精神」がこの神奈川をさらに輝く地域へと導く事をお約束し、佐野博之君を推薦させていただきます。